

# 広告だっていわくつき

クライアント様、毎回お世話になってます。広告もザ・ながのツボの一つです。効くら〜!!

1995年 No.282



## 【NHK】

NHKが広告を出したことそのものすごいのだが、この「ながさき跳町発市」のメインパーソナリティは当時長崎局にいた小田切千アナ(写真右)。現在「NHK歌謡コンサート」司会でおなじみ。出世したじゃん。

## 【きりんこ】

鍛冶屋町通りにあったバブきりんこは、そこでコンパした人の記念写真を載せる広告で大ブレイク。多いときには2ページぶち抜き。なんと6万人以上が掲載されたという。この写真撮影が始まると道が通りにくいと苦情もあったっけ。

## オランダ村



2nd NIB-SMILE FM-オランダ村フォトコンテスト

1995年 No.281

オランダ村 HOLLAND VILLAGE

## 【オランダ村】

ある時代の象徴のような存在ですな。またジェネレーションが違くと「キャスヴェイレッジ」ということになりますな。

2010年 No.655



### 南島原 2010年2月 20th

## そうめん料理 食べ歩き!

南島原のそうめん料理を食べ歩きしよう! 南島原の魅力を伝えるために、南島原市観光協会と連携し、南島原の魅力を伝えるために、南島原の魅力を伝えるために...

## 【南島原そうめん鉢】

新記録でした。何がって、1日で21軒まわったの、撮影で、1軒15分弱。しかも地理に不案内な南島原で迷ったりして、全部終わったときはすごい達成感だったっけ。(10年655号)

というわけで振り返ってみるとさすがに30年は長いですね。支えてくれた読者と長崎のお店やさん、関係者のみなさまに深く感謝いたします。これからも末永くヨロシクお願いいたします。

※今回ご紹介した誌面に載っているみなさま、再登場ありがとうございます。  
※なお、ザ・ながさきのバックナンバーは編集部にお越しいただければいつでもご覧できます。お気軽にお立ち寄りください(要予約)。



ほとんぱ大学2年にもなつて、左の程度の本をいかに読んでます。おぼろげな夢をみて、下を歩くと、ハハハ...

どらえもん  
長崎大学経済学部 北島 実

●北島実☆フルネームの説得力がある。(83年22号)

## 「ワタクシとザ・なが」その5



初めての「ザ・なが」  
長崎大学教授・医師/山本太朗さん  
大学入って初めての長崎に来て、最初に手にしたのは「ザ・なが」が、27年前のこと。長崎では民放が2局で、ローカルのコーシャルは静止画で、まだ「笑つていいとも」が放映されてなくて、大学の新款コンパで「歌ってもいいかな」と都会育ちの新生が訊くと「よ

かば〜い」といってあげた。1月には中曽根首相が韓国を訪問し、2月にはカーン・ペンタゴンのカレンが急死、4月には東京デイズ・1ランドが開園といった慌しい時代でした。僕は教養部で落第1年間お世話になったのが「ザ・なが」。最初の仕事が深夜でも使える喫茶店のリスト作り。どうすればよいのですかと訊く私に「そりゃあ、深夜に街を歩けばよか。開いている店が、それだ」といわれたことをよく覚えています。30周年、おめでとございます。27年のうちに、私自身は、世界中をまわり、3年前に縁あつてまた長崎に戻ってきました。今後ともよろしく願っています。

- COOに詠めり  
「背のわりに、顔がデカイとつくろあだ名」
- ちゃんちん詠めり  
「ドラえもん 海にいったらドザえもん」
- 91年1-7号のお題は「ザ・なが10周年」
- 「10年で、使った金はいくらか」
- 「おめでと〜! よくもツブれずひと昔」
- 「発売日 配本待つてサツと取る」